

かきの炭疽病に注意

9 月上旬の岐阜市則松のほ場調査では、炭疽病の発病果率が 6.7%と平年（0.6%）より高く、現地でも発病が顕著となっているほ場があります。また、以前に本病の発生がなかった地域でも確認されています。

これは 8 月に雨天が続き、本病の発生に好適な条件が長期間続いたことが要因と考えられます。

今後、降雨が続いたり、台風等の強風を伴う雨があつたりした場合、さらに発生が増加する恐れがあります。

ほ場内をよく観察し、発病枝や発病果実は見つけ次第除去した後、収穫前日数に注意しながら防除を実施してください。

防除を実施する場合、同一系統の薬剤を連用しないようにしてください（耐性菌対策）。



図 1 枝での発病



図 2 果実での発病

- ・ 農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。
農薬登録情報提供システム
<https://pesticide.maff.go.jp/>
- ・ 当所のホームページに発生予察情報、病虫害調査データなどを掲載していますのでご活用ください。
岐阜県病虫害防除所
<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>